



ランバースが北北海道大会へ



6月5日、豊頃ランバースが6月23日から音更町総合体育館で開催される「第38回全日本バレーボール小学生大会北北海道大会」へ出場挨拶のため、山本教育長のもとを訪れました。

川上浩樹監督（豊頃小学校教諭）から「十勝予選で優勝を果たし、実力は備わってきているチームだと感じている。子どもたちの目標である優勝を目指して練習に取り組む」と話し、選手からそれぞれ「チームで力を合わせて優勝したい」、「コートの中の選手を大きな声で応援してサポートしたい」などの抱負が話されたあと、山本教育長は「自分の目標をしっかりとってチームが一丸となって頑張りたい。体調管理に気をつけて」と激励しました。

小中学校合同クリーン作戦



6月14日、小中学校合同のクリーン作戦が行われました。豊頃小学校、大津小学校、豊頃中学校の全校生徒が集まり、大津前浜を起点として海岸沿いに分かれごみ拾いを行いました。当日は風が強く寒かったものの青空が見られるなか、中学生をリーダーに班ごとに分かれた児童・生徒たちは各所を回りながらごみ拾いをし、トラックの荷台いっぱいのごみが集められました。ごみは浜に打ち上げられたものや訪れた人々が落としていったものなど様々でした。児童らはこのクリーン作戦を通し、環境を守ることの大切さや豊頃町の観光スポットである大津前浜の様子を知るとともに、大津小学校の子どもたちとの交流を図るなど、有意義な一日となりました。

小学校、保育所で人権の花運動



5月29日 茂岩保育所



6月12日 大津小学校

5月29日に茂岩保育所、6月8日に豊頃小学校、6月12日には大津小学校でそれぞれ『人権の花運動』が行われました。豊頃町人権擁護委員の鳥宮慶法さんは人権の花にたとえ「花にはそれぞれ形や色が違うように、お友だちも顔が違ったりする。それと一緒にお互いを認め合うことが大切」と説明しました。その後、人権委員から「優しさをもって育ててください」と贈呈されたマリーゴールドなどの花の苗を、児童たちが一本一本丁寧に花壇に植えました。この運動は、小学生と未就学児を対象に花壇等に花の苗を植え、花を育てることを通して感謝の心や思いやりの心を育むことを目的としています。



6月8日 豊頃小学校

▼はるにれは見ていた

▼はるにれは見ていた

花壇整備と旗の波作戦



6月9日、豊頃地域づくり協議会（相澤和幸会長）は、豊頃旭町の国道38号と道道72号交差点付近にある花壇に、花の苗を植えました。地区の住民によって行われた花壇整備終了後には、町社会福祉協議会のキャラクター「トヨッピー」と北海道警察のキャラクター「ホクトくん」が参加者とともに国道38号沿いに立って「旗の波作戦」を展開し、道行くドライバーに対して旗を振りながら安全運転を呼びかけました。

商工会青年部がゴミ拾い



6月4日、商工会青年部（濹佐圭部長）が、茂岩入口駐車場付近の清掃活動を行いました。

毎年継続して行われている事業で、全国統一事業『「絆」感謝運動』として全国にある商工会青年部が一斉に取り組む活動の一つで、地域貢献を通して地域へ感謝することを目的としています。

濹佐部長は「この活動を通し、年々ごみが減ってきている。きれいに使ってくれている方々へ感謝したい」と話しました。

消防団連合演習



5月27日、十勝川河川敷広場で豊頃町消防団連合演習が行われました。年に一度行われるこの演習では、豊頃消防団（石田哲郎団長）の団員ら約50名が参加し、訓練の成果を披露しました。

これらの演習は団員の団結や道具の正しい使い方などを見るもので、団員の訓練の成果が十分に発揮されていました。各分団による小隊訓練や小型ポンプ操法、一斉放水が披露された後、分列行進では団員が茂岩市街を練り歩きました。

トドック スマイルキャラバン



6月20日、トドック スマイルキャラバン（生活協同組合コープさっぽろ 札幌市）が北海道と包括連携協定共同事業として、地域の魅力を発信する地域キャラバン事業を行いました。当事業は全道179市町村で行われる予定で、豊頃町では茂岩保育所のお誕生会に合わせて実施されました。

子どもたちはコープさっぽろの人気キャラクターであるトドックと一緒に手遊びやクイズをした後、トドックダンスをして楽しく過ごし、豊頃町のPRをしました。

子どもたちが踊っている様子などは、今後地域のPR情報とともにトドック Facebook やコープさっぽろ HP に掲載される予定です。

こぐまクラブ交通安全教室



5月29日、茂岩保育所で茂岩保育所こぐまクラブが交通安全教室を実施しました。年3回実施され、第1回目の当日は、茂岩駐在所平野所長から信号機の見方や道路の渡り方などの説明を中心に「保護者が良い手本になるように」と話した後、園児たちは保護者や先生と一緒に実際に茂岩市街を歩いて体験しました。保護者からは「(こうした機会を通して)子どもたちは信号機の赤は止まれで青は進めなんだよと教えてくれる。家庭で交通安全の話をするときにも良いきっかけになる」と、外出することも多くなることから、子どもたちが交通安全に興味をもつ貴重な機会の一つであると話しました。

役場だより

役場だより

